

とおかまち

Public Relations

市報



2016
7/10

平成28年 7月10日号

No.271

特集

— 中手集落の取組み —

輝き始めた小さなムラ

(2~4ページ)



黒滝遊歩道の「石抱きのケヤキ」にて

その他の主な内容

ピックアップニュース		連載コーナー①	
6	「大地の芸術祭の里」越後妻有2016夏	19	地元サポーター通信／とおかまちメニューの日
10	「森の学校」キョロロの夏季企画展	20	タウンピックアップ
11	平成29年度採用の市職員募集	22	連載コーナー②
12	移住・定住のためのU・Iターン支援	23	キラメキワーカース
13	平成28年度十日町市優良工事表彰	23	お知らせ・ガイド
14	妊娠・出産のための支援	30	連載コーナー③
15	とおかまち健康ダイヤル24	32	熱中・夢中／おらほのたから
16	国民健康保険のお知らせ		ジュニア芸術祭
18	後期高齢者医療制度のお知らせ		



区長
江村 和夫さん（中手・73歳）

私が子どもの昭和25年ころ、鉢と中手を合わせた旧真田小学校区だけでも、200人くらいの子どもがいて、賑わいがありました。しかし、今ではその面影もなくなっていました。

集落の人口が減り続けるなか、「このままではいけない」「何かやりたい」と考えるようになりました。しかし、「じゃあ、何をやったらいいか」となると、実際にそれを引っ張る人がいない状況でした。そこで、集落出身の江村久さんや地域おこし協力隊の助けを受けながら、平成24年の大地の芸術祭では作品を受け入れ、作家との交流や休憩所でもおもしろいなどの活動を始めました。その後も活動は徐々に活発化して、平成27年の芸術祭には、作品設置こそ叶いませんでしたが、会期に合

もっと中手のことを知ってほしい

わせた休憩所や、ヒマワリ畑の迷路には多くの人が訪れてくれました。また、同じ年には真田郷里山交流コンサートを初めて開催して、近隣の集落との協力・交流のイベントにも取り組んでいます。

地区の外から大勢の人が来ることは、ムラにも活気が生まれプラスになることだと感じるようになりました。

現在は、もっと中手を知らなくてもいい、訪れてもらうために、「集落で将来に残していいものがないか」と、寄り合いで意見を出し合って「黒滝」を新たな景勝地とする活動を始めました。集落に伝わる郡市最大の「庚申塔」と合わせて、多くの皆さんに知ってもらい、中手とともに忘れられることがないように守っていきたくです。



特集

中手集落の取組み
輝き始めた小さなムラ

中手集落の取組み

棚田のヒマワリ畑



前任の地域おこし協力隊の落合勇多さんを中心に始めた取組み。景観向上と世代間交流のために、休耕田にヒマワリを植えました。ヒマワリを刈り取ってつくった迷路は、たくさんの子どもたちで賑わいました。また、種から油を搾るなど副産物の利用も検討しながら集落の活性化を図っています。



●ツールド妻有の応援は毎年の楽しみ ●来訪者をもてなす地域のお母さんたち ●たくさんの人が訪れた大地の芸術祭 ●よく冷えた新鮮な野菜がよこばれました

真田郷里山交流コンサート〈歌声広場〉



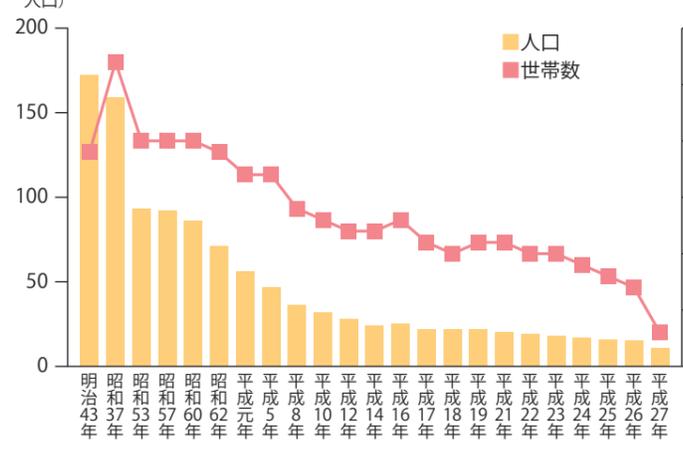
平成27年に初めて開催。芸術祭の作品設置に代わるイベントを実施しようと、近隣の集落にも参加を呼びかけ、地区内外との交流を深めました。

休憩所



大地の芸術祭の開催期間に合わせて休憩所を設置。集落に湧き出る清水を飲んでもらったり、冷やした野菜を食べてもらったりしました。また、集会所は芸術祭期間中に限らず解放し、いつでも利用できるようにしています。

中手集落の人口の推移



かつて中手は、周辺の鉢・中平・名ヶ山と合わせて真田村だったところ、村の中心地であり、村役場が置かれるほど栄え、賑わいがありました。

昭和30年代には、30世帯以上、150人を超える人が住んでいた中手。その後、集落を出る人は増え続け、今では、8世帯11人が暮らしています。

住民は集落の行く末を考えたとき、「このままひっそりと集落を終わらせたくない」と立ち上がりました。ムラを最後まで輝かせるために動き始めた中手の取組みと携わる人たちの思いをお伝えします。

を
る
の
力
を
支
え
る
ム
ラ

集落が変わっていく
可能性を感じます



地域おこし協力隊
山口 洋樹さん

受け入れてくれる人の熱意に引かれ、この地区を配置先として希望しました。年齢や人口をみればかなり厳しい集落だと言えますが、住民の皆さんは「このままじやいけない」という危機感を持っているし、「何かやりたい」という強い思いを持っています。地区に入り活動するなかで、この集落が大きく変わっていく可能性を感じています。地域おこし協力隊として、集落の皆さんのお手伝いをしながら、この地区を盛り上げていきたいです。

故郷のために力を出したい

24歳のときに、私の就職や妹の通学の都合もあり家族で北鑑坂に移り住みました。当時はまだ、中手にも30軒ほどの世帯がありましたが、結果として私が先導してムラを出たような形になってしまいました。父親が晩年のとき、中手を出たことに対する後ろめたさというか、いつも中手を気にかけている思いを感じました。私も退職し年を重ねるごとに、父親と同じような気持ちが強くなっています。すでに鑑坂での暮らしの方が長くなりましたが、生まれ育ったところは何か心引かれるものがあります。「中手の人に頼まれれば何でも手伝いたい」という気持ちで活動の仲間に入れてもらっています。

— 自身、外部から集落を見ると、この数年で住民の皆さんが



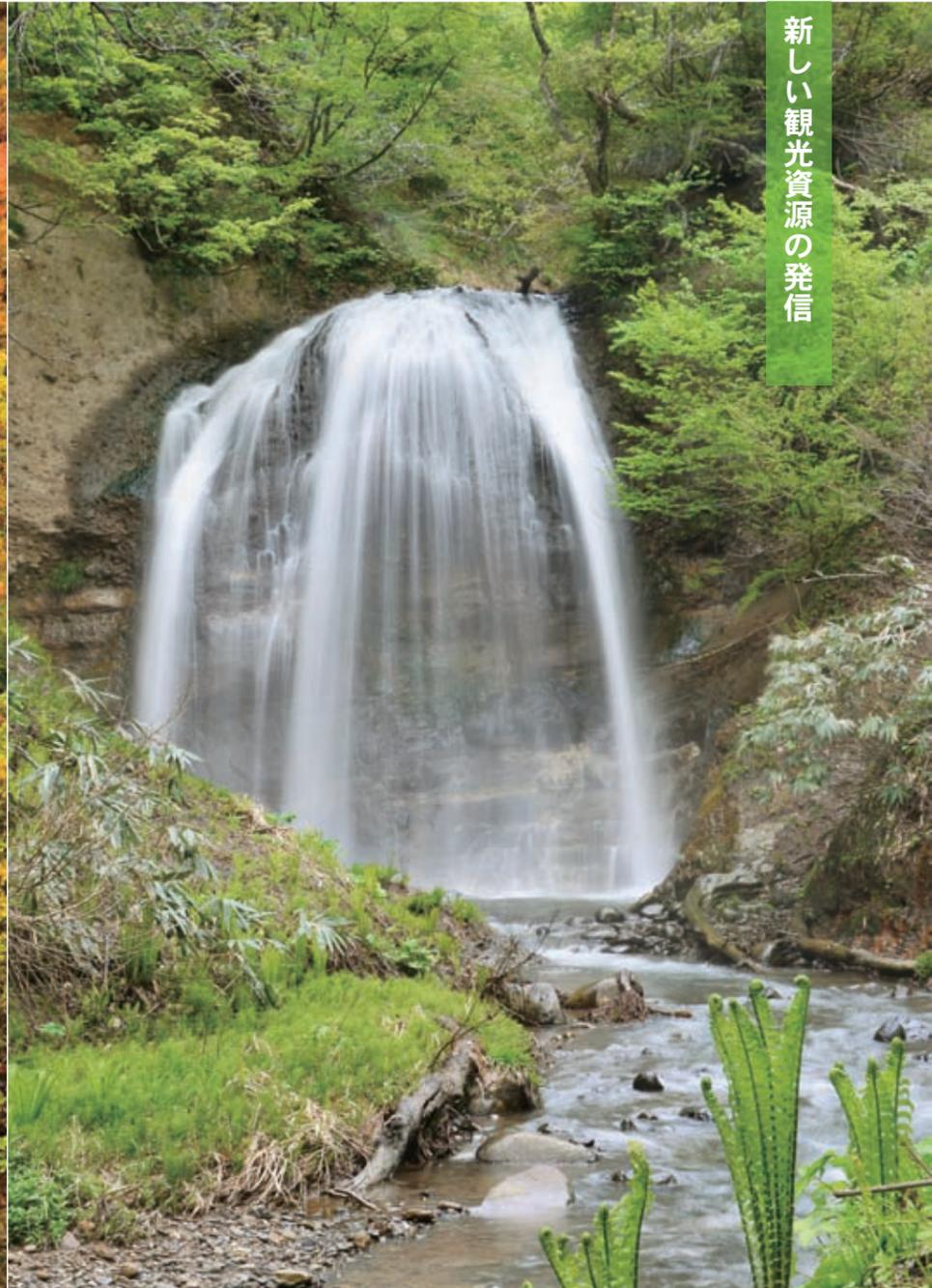
江村 久さん (北鑑坂・67歳)



黒滝を眺める展望台の整備

明るくなったと感じています。集落に住んでいると気がつかないかもしれませんが、確実に変わってきています。次の一つの目標である次回の大地の芸術祭に向けて、どんな取組みができるのか楽しみになってきました。

新しい観光資源の発信

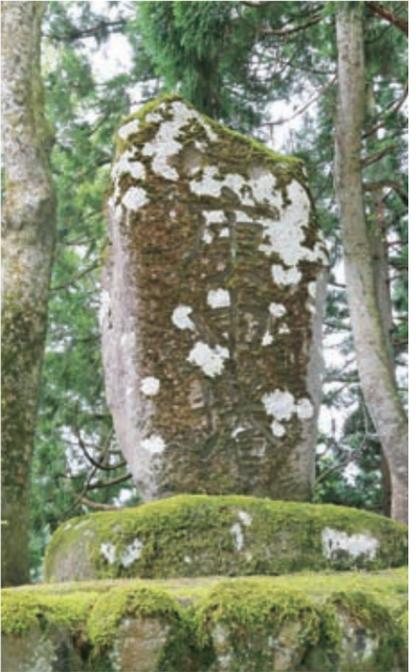


■黒滝

中手川下流域の深い渓谷にある滝。周辺農地の耕作放棄が進むにつれ、草木が生い茂り、農道や水路も途絶え、容易に立ち入ることができない幻の滝となっていました。この忘れ去られようとした滝と、自然景観を蘇らせるため、黒滝周辺の環境整備に取り組んでいます。



注) 現在、黒滝への遊歩道は一般公開していません。見学を希望するときは吉田地域自治振興会事務局(吉田公民館内)にお問い合わせください。(☎752-2874)



■庚申塔

郡市内でも最大級の大きさを誇る庚申塔(高さ2メートル、重さ3.5トン)。黒滝の谷底40メートルから原石を運び上げたと言えられる。集落の繁栄を願った先人の思いと偉業として残されています。

まつだい「農舞台」企画展

「どうしてみんな、花が好き？」

老若男女を問わず、みんなが大好きな花。多くのアーティストと花の達人たちによる「花」の作品だけの展覧会を開催。

▼会期＝7月2日(土)～9月4日(日)※水曜休館（8月10日(水)、17日(水)は開館）

▼時間＝午前10時～午後5時（最終入館4時30分）

▼料金＝600円、小・中学生300円（まつだい郷土資料館入館料含む）

▼参加作家＝石塚まこ、磯崎真理子、上野雄次、内海聖史、レアンドロ・エルリッヒ、大巻伸嗣、康夏奈、鴻崎正武、椛田ちひろ、小松宏誠、田中望、中川幸夫、西村陽一郎、蜷川実花、船田玉樹、船田奇岑、松尾高弘、ミレイヒロキ、森山大道、松代のみなさん



Photo by Osamu Nakamura

絵本と木の実の美術館企画展

「みえないいと 月の闇がつなく 苔と、ヤギと、鉄鉱石と、風と、ヒトと」



鉄と苔を使ってつくられた巨大なやじろべえ「Greenman」が校庭に出現。幻想的な空間作品作家・中里繪魯洲と田島征三がコラボレーションする展覧会を開催。

▼会期＝7月2日(土)～11月29日(火)

▼休館日＝毎週水・木曜日※8月10日・17日を除く（臨時休館：9月12日(月)・16日(金)）

▼時間＝午前10時～午後5時（最終入館4時30分）
※10月以降は4時まで

▼料金＝700円、小・中学生300円

▼参加作家＝中里繪魯洲、田島征三

奴奈川キャンパス

夏の特別授業

美術、体育、ダンス学科で夏の特別授業を開催。子どもも大人も夏の奴奈川キャンパスに集まろう。



【美術学科】 続「大地のおくりもの」を彫ろう

▼日程＝8月9日(火)、12日(金)～16日(火)

▼時間＝午前10時～午後4時（正午～1時は休み）

▼料金＝1,000円

【体育学科】「FC越後妻有」U-15サッカー教室

▼日程＝8月6日(土)、7日(日)、13日(土)、14日(日)

▼時間＝午前10時30分～正午（受付10時～）

▼料金＝500円



Photo by Hiroshi Hatori

【ダンス学科】「続」ハッピーバカキノコダンスwithオーディエンス

▼日程＝8月11日(祝)午後6時～、12日(金)午前10時～

▼料金＝1,000円

▼構成・振付＝伊藤千枝

▼出演＝珍しいキノコ舞踊団＋日芸洋舞有志



Pick Up

「大地の芸術祭の里」越後妻有2016夏



昼は親子で水あそび!夜は夏祭りと屋外シアター! 里山満喫の夏休み

問合せ:「大地の芸術祭の里」総合案内所 ☎761-7767

四季イベントの第2弾「大地の芸術祭の里 越後妻有2016夏」が始まります。

家族で楽しめる展覧会やイベントが盛りだくさん。この夏は家族みんなで越後妻有をまるごと楽しみませんか。



越後妻有里山現代美術館「キナーレ」企画展
水あそび博覧会

多彩なアーティストによる新しい水あそびの提案。子どもも大人も裸足になっておもしろい遊びよう。キナーレ回廊の池や展示室に親子で楽しめる体験作品を展開。

▼会期＝7月23日(土)～9月4日(日)※水曜休館（8月10日(水)、17日(水)は開館）

▼時間＝午前10時～午後5時（最終入館4時30分）

▼料金＝800円、小・中学生400円（常設展入館料を含む）

▼参加作家＝さとうりさ、SUPPOSE DESIGN OFFICE、杉浦隆夫、ちゃぶていあふ、長谷川仁、YORIKO

YORIKO



さとうりさ



ちゃぶていあふ



杉浦隆夫



長谷川仁



「モグラ TV」

キナーレ正面の芝生広場の地下スタジオに、昨夏大人気となったモグラ君が再登場。

▼日時＝8月8日(月)、9日(火)、15日(月)、16日(火)
午前10時～11時

▼協力＝FMとおかまち



Photo by Osamu Nakamura

この夏だけの限定公開！人気作品をお見逃しなく



うぶすなの家、夢の家、脱皮する家、最後の教室、ギャラリー湯山、奴奈川キャンパス、清津倉庫美術館、越後妻有「上郷クローブ座」、オーストラリア・ハウス、Kiss & Goodbye (土市駅・越後水沢駅)、赤倉の学堂、再構築、ベリー・スプーン、明後日新聞社文化事業部、うつすいえ、下条茅葺きの塔、船の家 ほか

▼開館日＝8月6日(土)～21日(日)

※ギャラリー湯山は8月15日(月)まで。

※ベリー・スプーンは7月23日(土)～8月21日(日)の金・土・日・月曜日と祝日

▼時間＝午前10時～午後4時※清津倉庫美術館は5時まで

▼各300～500円

「越後妻有2016夏」共通チケット

夏の企画展や空家・屋外作品すべてを楽しめるお得な共通チケットを販売。各種イベントや温泉、レストランなどの割引特典付き。

▼販売場所＝十日町駅観光案内所、市役所本庁売店、各支所地域振興課、キナーレ、農舞台、絵本と木の実の美術館、各ミュージアムショップ、イープラス、オンラインショップ ほか

▼2,000円、小・中学生500円(小学生未満無料)

十日町市・津南町の小・中学生は無料(各学校を通じて引換券を配布します)

▼有効期間＝8月6日(土)～21日(日)



里山の夏をいろどる多彩なイベントをご紹介します

鉢&田島征三 絵本と木の実の美術館

BACCA * GOHGI な鉢祭り! 2016 ～つながれつなごれ! おどっちゃえ!～

毎年恒例、コンサート&盆踊りドッキングイベント。おおたか静流さんの新譜「おせなか音頭」も踊ろう。

▼日程＝8月13日(土)午後6時45分(開場6時)

▼¥2,000円(前売1,500円)、小・中学生800円(前売500円)、幼児無料

▼出演＝おおたか静流、ASU、太田恵資

▼舞台演出＝中里繪魯洲



まつだい「農舞台」

鬼太鼓座ライブ&大地の芸術祭和太鼓サミット 「一ツ花」～名も無き一輪の花の魂～

鬼太鼓座が、今夏も農舞台にやってくる。暑く蒸し返す越後妻有の夏の夜、一夜限りの花が咲き誇る。

▼日程＝8月6日(土)午後6時(開場5時30分)

▼¥2,000円(前売1,500円)、小・中学生800円(前売500円)



越後妻有「上郷クローブ座」

「ことばあそびうた」レストラン produced by 谷川俊太郎・谷川賢作

EAT & ART TARO演出の地元女衆による演劇仕立てのレストランが復活。谷川俊太郎の詩と谷川賢作の音楽が彩ります。

▼日程＝8月6日(土)、7日(日)、11日(祝)、13日(土)、14日(日)、20日(土)、21日(日)

▼時間＝正午～午後1時

▼¥2,000円、小学生以下1,000円 ▼定員＝各回40人



蓬平・三省ハウス 里山映画館

集落にある野外アート作品と三省ハウスが、この夏限定の映画館に。

▼日程＝蓬平：8月16日(火)、三省ハウス：8月12日(金)、13日(土)

▼時間＝午後6時～8時30分ころ

▼蓬平：1,500円(前売1,300円)、小・中学生800円(前売500円)

※1ドリンク付

三省ハウス：1,000円(前売800円)、小・中学生500円(前売300円)

※8月12日、13日三省ハウス宿泊者は500円、小・中学生無料

▼関連イベント＝蓬平では、北川フラムトークイベントあり

※蓬平会場は自家用車乗入不可。十日町駅、まつだい駅よりシャトルバス運行



このほか、たくさんのイベントプログラムをご用意しています。詳しくは「大地の芸術祭の里ホームページ」をご覧ください。
⇒ <http://www.echigo-tsumari.jp/>

「森の学校」キョロクの夏季企画展と夏休み特別イベント

アゴからみつめる生き物の進化とにぎわい

問合せ：「森の学校」キョロク ☎595-8311

夏休みに合わせた企画展と、自由研究を応援するイベントを開催します。子どもから大人まで楽しめるイベントがたくさん。家族皆さんでお越しください。

夏季企画展

■その魅力にガクガク！アゴ展―噛みしみて生き物の進化―

私たちの食事に欠かせない体の一部「アゴ」。生き物の世界ではアゴは食べる・闘う・アピールするなど、その形や役割はさまざまです。さまざまな昆虫をはじめ哺乳類や爬虫類といった生き物の「アゴ」に注目して、その進化、多様性、機能などから生き物たちのにぎわいを感じる企画展です。

●期間 7月16日(土)～9月19日(祝)

■クワカブルーム

キョロコ定番の夏の大人気コーナーです。カブトムシやクワガタムシの角やアゴの形、けんかやエサを食べるようすなどの行動を間近で観察できます。

●期間 7月16日(土)～9月4日(日)

〈共通〉

●開館時間 午前9時～午後5時(入館受付は4時30分まで)
●料金 500円、小・中高生300円、未就学児・友の会会員無料



夏休み自由研究応援シリーズ

キョロコでしか体験できない多彩なプログラムで、夏休みの自由研究を応援します。

●ブナの箸づくり

地元産のブナを削って、自分だけの箸を作ります。

●8月7日(日)午前10時～正午 定10人

●他作品は持ち帰り可

●ナイトミュージアム
夜のキョロコを研究員と一緒に探検します。

●8月12日(金)午後7時～8時30分 定15人

●草木染め体験
コナラやブナを使った染め物づくり体験です。身近な植物から意外な色で布を染めあげます。

●8月13日(土)午前9時30分～午後0時30分 定10人

●他作品は持ち帰り可

●昆虫標本づくり講座
身近な昆虫を材料とした標本の作り方を体験します。

●8月14日(日)午前10時～正午 定10人

●定10人

●昆虫解剖講座

昆虫を解剖しながら、昆虫の体の仕組みや機能を専門の研究員と学びます。

●8月20日(土)午前9時30分～午後0時30分 定10人

●植物しおり作り
身近な植物の葉っぱや花を材料にして、オリジナルのしおりを作ります。

●8月21日(日)午前10時～正午 定20人

定番の「里山の生きもの探検」や夏限定の「夜の昆虫探検」、地域の自然を市民の皆さんと一緒に調べる多様な「市民協働調査」なども開催します。詳しくは問い合わせください。



平成29年度採用の十日町市職員募集

熱意あふれる人を求めています

問合せ：総務課人事係 ☎757-9787

平成29年4月1日採用の十日町市職員を募集します。「十日町市をより良いまちにしたい」など、熱意あふれる皆さんの応募をお待ちしています。※十日町地域広域事務組合職員(消防士)募集は、25ページでお知らせしています

一般事務初級

●人数 5人程度

●受験資格 平成7年4月2日以降に生まれた、学校教育法による高等学校を卒業した人、または平成29年3月31日までに卒業見込みの人

●初任給 14万4600円

一般事務上級(社会人経験者)

●人数 3人程度

●受験資格 昭和54年4月2日から昭和62年4月1日の間に生まれた、学校教育法による大学(短期大学を除く)を卒業した人で、民間企業などでの職務経験期間が平成28年7月末現在で4年以上ある人

●初任給 21万6千円程度(年齢30歳・勤務年数8年の一例)

土木技師中級

●人数 3人程度

●受験資格 昭和57年4月2日以降に生まれた、学校教育法による大学・短期大学・高等専門学校・専門学校の土木専門課程を卒業した人、または平成29年3月31日までに卒業見込みの人

●初任給 15万7300円

社会福祉士

●人数 1人程度

●受験資格 昭和57年4月2日以降に生まれた人で、社会福祉士の資格を有する人、または平成28年度に取得見込みの人

作業療法士

●人数 1人程度

●受験資格 昭和57年4月2日以降に生まれた人で、作業療法士の免許を有する人、または平成28年度に取得見込みの人

●人数 1人程度
●受験資格 昭和57年4月2日以降に生まれた人で、保育士資格および幼稚園教諭免許の両方を有する人、または平成28年度に取得見込みの人
●初任給 15万7300円

【共通事項】

●第1次試験…筆記試験
日9月18日(日)
会 十日町保健センター

●試験科目

●教養試験・作文・適性検査(土木技師中級、社会福祉士、保育士は専門試験も実施)

●第2・3次試験の詳細は合格者に別途通知

●7月11日(月)～8月19日(金)の間に必要な書類を人事係へ提出(申込書類は返却不可)

●持参 平日午前8時30分～午後5時15分に持参(本人以外も可)

●郵送 必ず簡易書留郵便で送付(8月19日(金)消印有効)

●必要書類
・職員採用試験申込書(人事係に配置、市ホームページ)

●成績証明書(最終学歴のもの。来春卒業見込みの人は最近のもの)
・卒業証明書(卒業見込みの人は卒業見込証明書) ※社会福祉士、作業療法士、保育士は不要

●82円切手を貼付し、送先住所・氏名を記入した返信用封筒(長形3号)2枚
※社会福祉士への応募は社会福祉士登録証の写し、作業療法士への応募は作業療法士免許証の写し、保育士への応募は保育士証の写しまたは保育士資格証明書の写しおよび幼稚園教諭免許状の写し(いずれも取得見込みの人は除く)



平成28年度十日町市優良工事表彰

良質な施工確保と技術力向上のために

問合せ：財政課契約検査係 ☎757-3114



市では、良質な施工の確保と受注者の技術力の向上を目指して、模範となる工事の施工者を表彰しています。今年も前年度に施工された工事の中から2件を選定。6月16日(木)に表彰しました。

優良工事表彰対象

●松代改第3号 市道室野山平線道路改良工事 施工者：(株)司工務店



現場代理人
小塚 国栄さん



大量の盛土材を使う工事でしたが、現場内や隣接地から採取した土砂を転用し、工事を無事終わることができました。良い評価をいただき、大変うれしく思っています。



1万㎡の盛土材の現場内調達において材料の品質保持に努め、優良な盛土品質を確保しました。

●道改第7号 市道馬場5号線道路改良工事 施工者：(株)昭和建設



工事区間の隣接地に仮設歩道を自主的に設置。地区住民の安全対策と生活機能の保全に配慮しました。



現場代理人
飯塚 義彦さん

通学路として利用している道路だったため、子どもたちの安全を考慮して、仮設歩道の設置を決めました。今回の受賞は、今後の励みになりました。

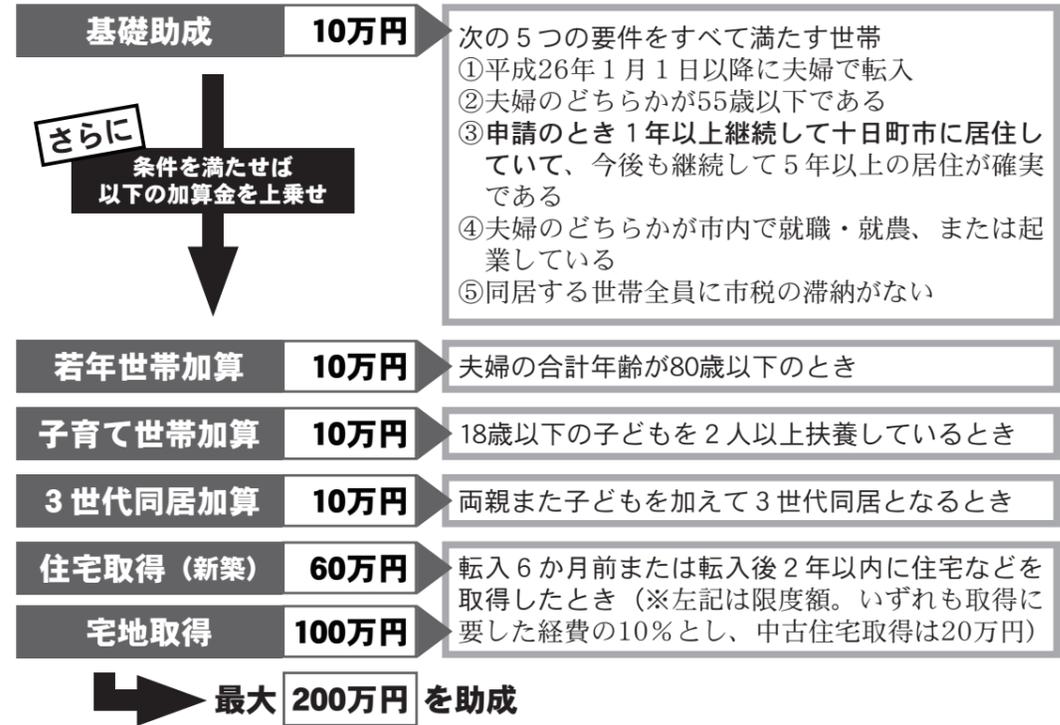
移住・定住のためのU・Iターン支援

とおかまちに住んでみませんか・帰ってきませんか

問合せ：企画政策課移住定住推進係 ☎755-5137

その1 転入した世帯に助成金を支給【定住促進助成事業】

夫婦単位でU・Iターンした世帯に、市での生活基盤を整えるための資金を助成します。



市は人口減少対策としてU・Iターンを支援する取り組みをしています。とおかまちを『住むところ』として選択した人への助成や、故郷への思いを馳せ『帰るところ』として意識してもらえよう同窓会を支援しています。(それぞれ詳細は問い合わせてください。)

その2

市内で開催する同窓会の経費を補助【ふるさと同窓会支援事業】

進学や就職で、市を一度巣立った若者に帰ってきてもらうきっかけとするための補助事業です。お盆や年末年始、友人たちと将来やおかまちの未来を語りあいませんか。幹事の皆さん、ぜひ活用ください。

対象
 次の4つの要件をすべて満たす同窓会
 ①市内の学校の卒業生で開催する会
 ②市内の飲食店で3月31日までに開催する会
 ③参加する人全員が開催年度の3月31日時点で20歳～29歳である
 ④10人以上が参加し、その3割以上が市外在住
 ※市主催の成人式に参加する人が、式の前5日間に開催する会は対象外

補助額
 市内参加者1人 千円
 市外参加者1人 3千円
 合計で 最大10万円を支給



支給された補助金は、飲食費のほか、案内文書発送などの事務経費、記念撮影代、記念品の購入費用として使うことができます。開催の14日前までに申請してください。

とおかまち健康ダイヤル24

医師・看護師などがいつでも無料で相談に応じます

問合せ：健康づくり推進課地域医療推進係 ☎757-3187

気軽に相談してください 『とおかまち健康ダイヤル24』

合い言葉は…
フリーダイヤル 十日町やっぱり 無事一番
0120-108-221

? 相談の実績は

平成27年度は3369件（平成26年度1192件）の相談を受けました。内容は、治療に関することや気になる身体の症状に関するものが約6割となりました。

回答として、様子を見るよう案内したものが約7割、早めの受診を勧めたものが約2割となっています。

? どんな相談ができるの

- 健康相談 身体の不調や健康の保持・増進など
- 医療相談 病気の詳しい説明、薬の副作用など
- 育児相談 子どものケガや急な発熱、妊娠や出産など
- 介護相談 高齢者の介護方法、転倒予防、食事指導など
- 医療機関情報の提供 休日当番医、人間ドック実施施設の情報提供など

※メンタルヘルスに関する相談は対象外

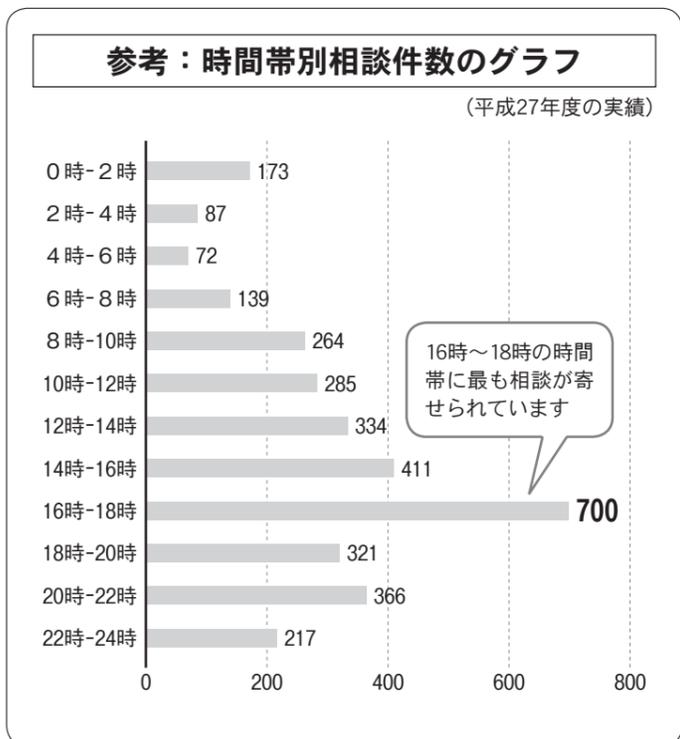


お願い

大切な地域医療を守るために

- ・救急医療の適正利用にご理解ご協力をお願いします
- ・救急医療を利用するか悩むようなら、まずはとおかまち健康ダイヤル24へご相談ください

※意識がないなど緊急を要するときは迷わずに119番へ連絡してください



24時間・年中無休の市民専用の電話健康相談サービスです。通話・相談は無料ですので、子どもや家族、自身の健康について気になることがあれば、いつでも気軽に相談してください。医師・看護師・栄養士・ケアマネージャーなどの専門スタッフがアドバイスします。

妊娠・出産のための支援

安心して子どもを産み育てるために

問合せ：健康づくり推進課母子保健係 ☎757-9759

新規 妊産婦への医療費助成

市では母子の健康保持や子育てに関する精神的・経済的な不安や負担を和らげるため、妊娠期間からの切れ目のない子育て支援を推進しています。今年度から、妊娠・出産のための支援策をさらに拡充しました。子どもをほしいと望んでいる人たちが、安心して子どもを産み育てられるよう支援します。

平成28年7月から新たに助成します。

新規 産後ケア事業

出産後5か月未満の産婦および乳児に、母体管理、沐浴、授乳指導その他必要な保健指導を医療機関で行います。

出産後、自宅で子育てを手伝ってくれる人がいないときや、育児や体の回復に不安のある人はぜひ利用してください。

- 対象 市内に住所を有する妊産婦※ほかの医療費助成制度の対象となっていない人は除く
 - 期間 母子健康手帳の交付を受けた日から出産した月の翌月末日まで※平成28年7月1日以降の保険適用医療費分
 - 助成額 保険適用医療費について、自己負担額から次の①～④の一部負担金を差し引いた額を助成
 - ①通院1日につき530円（同一医療機関1か月につき5回目以降の受診は無料）
 - ②医師処方薬の薬剤費用は無料
 - ③入院1日につき1200円（市民税非課税世帯で、保険者から「標準負担額減額認定証」の交付を受けている人は入院時の食事代も助成）
 - ④指定訪問看護1日につき250円
 - 申請方法 医療機関窓口で自己負担額をいったん支払ったあと、助成申請書に領収書などを添付して申請
 - 健康づくり推進課母子保健係 ☎757-9759
- シヨートステイ 宿泊を伴う利用
 - デイサービス 午前9時から午後5時までの日帰り利用
 - ※シヨートステイ、デイサービス合計7日間まで助成
 - 実施医療機関 たかき医院（馬場丙1550-1）
 - 利用者負担額 産後ケア事業に係る経費のうち一部を市が助成。利用者の負担額は次のとおり
 - ・シヨートステイ1日当たり 負担額5千円
 - ・デイサービス1日当たり 負担額2千円
 - たかき医院 ☎758-2361



拡充 特定不妊治療費の全額助成

不妊治療を受ける夫婦の特定不妊治療（体外受精または顕微授精）に要する費用に対し、県の助成後に市が全額を助成します。

- 対象 県の特定不妊治療助成を受ける人で、夫・妻のいずれかが市内に住所を有し、妻の年齢が43歳未満の夫婦
- 助成額 特定不妊治療に要した費用の額から、県の助成額を控除した全額を助成
- 回数 夫婦1組につき通算6回を上限（妻の年齢が40歳以上の場合は3回）※年間の助成回数および期間制限はなし

●健康づくり推進課母子保健係 ☎757-9759



国民健康保険のお知らせ

新しい保険証と平成28年度の納税通知書をお届けします

問合せ：市民生活課国保年金係 ☎757-3735

今年も、8月1日から国民健康保険被保険者証を一齐に更新します。また、今年度の保険税の税率を決定しましたのでお知らせします。

保険税率

平成28年度の税率は次のとおり据え置きとしました。国保税額は納税通知書（7月15日（金）発送）で確認してください。納税通知書は、世帯主へ、加入している家族の分を合計したものを送付します。

国保税は、医療給付分と後期高齢者医療支援分の合計で算定されます。

40歳から64歳までの人（介護保険第2号被保険者）は介護納付分が加えられます。

【税率表】

区分	28年度税率
医療給付分	所得割 6.5%
	資産割 5.0%
	均等割 25,000円
	平等割 27,500円
後期支援分	限度額 540,000円
	所得割 1.9%
	均等割 10,500円
介護納付分	限度額 190,000円
	所得割 2.2%
	均等割 17,000円
	限度額 160,000円

年金からの天引き（特別徴収制度）

次の条件すべてに該当する世帯は、原則として世帯主の年金からの天引きで国保税が徴収されます（特別徴収）。徴収が始まる際には、事前

- ・世帯主が国民健康保険の被保険者であること
- ・世帯内の国民健康保険の被保険者全員が65歳以上75歳未満であること
- ・特別徴収の対象となる年金の年額が18万円以上であり、国保税と介護保険料を合わせて、年金額の2分の1を超えないこと

年金天引きではなく、口座振替で納税することもできますので、問い合わせください。
※納付書での納税はできません

軽減割合	軽減基準所得	(例) 3人のとき
2割軽減	33万円+48万円×被保険者と特定同一世帯所属者の人数	177万円以下
5割軽減	33万円+26.5万円×被保険者と特定同一世帯所属者の人数	112.5万円以下
7割軽減	33万円	33万円以下

※特定同一世帯所属者＝国民健康保険から後期高齢者医療制度に移行し、継続して同一の世帯に属する人

国保税の軽減

申請不要

一定の所得以下の世帯に対して、税額の負担（均等割・平等割）が軽減されます。
●条件Ⅱ世帯主、世帯に属する被保険者、世帯に属する特定同一世帯所属者の前年の総所得金額合計が左表の軽減基準所得以下

国保税の減免

要申請

次の理由に該当し、国保税の納税が著しく困難な世帯は減免されます。詳しくは問い合わせください。
①震災・風水害・火災、そのほかの災害で住宅や家財などが著しい損害を受けた世帯
②倒産・廃業・休業・失業・疾病、そのほかの理由で所得が著しく減少した世帯
③そのほか、特別の事情があると認められる世帯

膨らむ医療費

昨年度に国保（市+加入者）から医療機関に支払った医療費は47億6800万円でした。医療費が増加すると国保税に影響します。市では、各種保健事業で、健康管理や疾病予防対策に積極的に取り組んでいます。医療費を抑え、国保税を安くするためには、一人ひとりが健康に気をつけることが大切です。

ジェネリック（後発）医薬品希望カードの配布

保険証と一緒に「ジェネリック医薬品希望カード」を1世帯に1枚配布しますので、ご利用ください。※カードは市役所市民生活課国保年金係（各支所市民課）窓口にもあります

ジェネリック医薬品とは

ジェネリック医薬品（後発医薬品）とは、新薬（先発医薬品）の特許期間が満了した後に、厚生労働省の承認のもとに発売されるもので、医療機関や薬局で処方されます。開発コストが抑えられるため、同じ成分・同じ効き目でも価格が安く、薬代の負担を軽くします。
※ジェネリック医薬品を使えないときもありますので、医療機関などで確認してください

国民健康保険被保険者証と国民健康保険被保険者証兼高齢受給者証の更新

8月1日から使える新しい国民健康保険被保険者証と国民健康保険被保険者証兼高齢受給者証（70歳〜74歳対象）を郵送交付します。

- 送付先Ⅱ世帯主※市外へ住所を移した学生で更新した保険証も合わせて郵送
- 発送日Ⅱ7月22日（金）
- 注意
・今までのものは8月1日から使えなくなります。各自で処分してください
- ・保険証が届いたら、住所・世帯主氏名・被保険者氏名

平成29年7月31日までに75歳になる人へ
通常の有効期限は平成29年7月31日ですが、満75歳の誕生日から後期高齢者医療制度に加入することになります。期限が切れる前に新しい「後期高齢者医療被保険者証」を送付します。

裏面の注意事項をよく読んでください
を確認し、記載事項に誤りがあるときは届け出てくださ

国民健康保険税とは

この制度は、加入者が納める保険税で運営されています。高齢化や医療技術の向上などで、医療費は年々増加しています。必要な医療を加入者の皆さんに提供するために、安定した財源の確保を図る必要があります。

国民健康保険とは

病気やけがをしたときに安心して医療を受けることができるよう、加入者が保険税を出し合って助け合う制度です。自営業の人や会社をやめた人などが加入しています。





『越後妻有民俗泊物館』展

作品制作ボランティア@キナーレ



地元サポーター 山本 晋吾・しのぶ 夫妻 (船坂・43歳)



①展示品の一つ。紙粘土で鮭の切り身を作りました。この後、色を塗ってより鮭らしくなりました。②民俗泊物館の壁に漆喰を塗ります。③綺麗な白い壁になりました。

●作品制作に参加してみて
小学生以来の紙粘土だったので、鮭の切り身を作るのが大変でしたが、作家の深澤さんをはじめとした大地の芸術祭に関わる皆さんと知り合えたことはとても楽しかったです。

「芸術祭でつながる」

2012年10月に移住してきました。移住準備で十日町市を訪れていたときに、大地の芸術祭のことを初めて知りました。

十日町市の住人として大地の芸術祭に関わってみたい、と漠然と考えていたときに地元サポーター制度を知り、さっそく登録しました。最初の一步をなかなか踏み出せずにいましたが、「越後妻有2016春」の作品制作から本格的に活動へ参加しました。作家・地元住民・こへび隊が協力しながらの作品制作はとても楽しく、一度参加すると、「またやりたい」という気持ちになります。

■問合せ＝「大地の芸術祭の里」総合案内所 ☎761-7767

後期高齢者医療制度のお知らせ



保険証の一斉更新と平成28年度保険料のお知らせ

●●●●●問合せ：市民生活課国保年金係 ☎757-3735

保険証の更新

現在の保険証(桃色)は、7月31日(日)で有効期限が切れ、8月1日(月)から新しい保険証(空色)になります。新しい保険証は、7月8日(金)に発送しました。8月になっても保険証が届かないときや、届いた保険証に誤りなどがあれば連絡してください。

医療費の自己負担割合

病院などに支払う医療費の自己負担割合は、1割または3割です。8月1日から来年の7月31日まで適用となる医療費の自己負担割合は、新しい保険証に記載されています。

自己負担割合の判定

同一世帯の後期高齢者医療制度加入者の前年の所得に応じて判定します。

- 1割負担となる人＝3割の判定以外の人
- 3割負担となる人＝同一世帯の後期高齢者医療制度加入者の中に住民税の課税標準額が145万円以上の所得者がいる人。ただし、次に該当する人は申請により1割負担になります。

〈同一世帯に加入者が1人のとき〉

- 加入者の収入合計金額が383万円未満
- 加入者および同一世帯の70～74歳の人全員の収入合計金額が520万円未満

〈同一世帯に加入者が複数いるとき〉

- 加入者全員の収入の合計金額が520万円未満

平成28年度の保険料

該当する人には、7月15日(金)に年間保険料額の通知書を発送します。

保険料額の計算方法

均等割額と所得割額の合計が年間保険料額となります。(賦課限度額は57万円)
 ・均等割額…1人あたり年間3万5300円
 ・所得割額…料率は7・15%で、前年中の所得金額などを基に算定

保険料の軽減

- 低所得者への軽減※前年中の所得状況に応じて保険料が軽減されます
 - ・均等割額…世帯の所得状況に応じて、9割、8・5割、5割、2割を軽減
 - ・所得割額…個人の所得状況に応じて、5割軽減
 - 制度加入前日に会社の健康保険などの被扶養者であった人への軽減
- ※国保や国保組合は対象外

保険料の納付方法

■ 4月の年金からすでに納めている人

【特別徴収】

10・12・2月の納付額…確定した年間保険料額から、4・6・8月の納付額を差し引いた残額を10・12・2月の年金から納めてもらいます。

■ 7月から納付書または口座振替で納める人

【普通徴収】

確定した年間保険料額を、7月から翌年の3月に分けて納めてもらいます。月々の保険料額は、通知書で確認してください。※年度途中で特別徴収に切り替わるときは、事前に通知します。

■ 納入方法の変更：保険料は、原則として特別徴収ですが、口座振替(普通徴収)に変更することができます。希望するときは、市内の金融機関窓口で手続き後、申し出てください。

● 申請に必要なもの＝口座振替依頼書の本人控え・印鑑・保険証

仮徴収			本徴収		
4月	6月	8月	10月	12月	2月
年金	年金	年金	年金	年金	年金

4月～6月	7月～3月
納付なし	納付書または口座振替



問合せ：学校教育課 ☎757-9957

■生産者 深雪の里ファーム 鈴木 和雄さん (倉俣)



鈴木さんの20アールの畑では、最盛期に1日10kgのアスパラが収穫されます。「土づくりの意味と収穫のよこび、農業の楽しさを子どもたちに伝えたい」と話しました。

おいしかった! の声

収穫してすぐ給食センターに納められたアスパラは、根元の切り口がとてもみずみずしく、「やわらかくて、とてもおいしい」と児童や教職員から大好評した。



6月のクローズアップ食材 「アスパラガス」

深雪の里ファームでは、化学肥料・農薬を使わない「炭素循環農法」で栽培しています。肥料の代わりに市内で作られている「なめこ」の菌床を土に混ぜ込み、枯れたアスパラや雑草も土に返して、ふかふかの畑で育てられています。



6月の献立 「田沢小学校」

- ・ごはん
- ・豆みそ
- ・アスパラサラダ
- ・たけのこと卵のお汁
- ・牛乳

12年の時を経て

6月12日(日)：田野倉公園



申年の今年、田野倉区では庚申祭の略式帰祭が行われました。お経をあげたあと、前回(12年前)埋めたタイムカプセルを掘り起しました。お酒や写真、当時の新聞や広報紙が取り出され、参加者を楽しませました。実行委員長の池田勝則さんは「12年に1回の集落の楽しみです」と話しました。

新潟大学人文学部と包括連携協定を締結しました

6月23日(木)：市役所本庁

この協定は教育や研究分野で相互に協力し、地域社会の発展と人材育成に寄与するために、新たな枠組みのもとで連携を一層強化していくものです。

当面の連携事業としては、情報館で公開している旧・山内写真館の写真データベース約3千点を、同大学が構築したデータベースのネットワークに加えて公開する取組みが進められます。

協定書の調印式で関口市長は「市の魅力ある歴史・文化を広く発信し、人材育成やまちづくりに生かしたい」と話し、齋藤陽一学部長は、「今日が協力関係を加速させる一歩であることを望む」と話していました。



と話し、齋藤陽一学部長は、「今日が協力関係を加速させる一歩であることを望む」と話していました。

朝もやの中で深鳥会

5月29日(日)：「森の学校」キョロロ

渡辺央さん(新潟県野鳥愛護会長)を講師に迎え、約100人の参加者と美人林などを探索しました。45種の野鳥の鳴き声が確認され、参加者は望遠鏡やカメラでバードウォッチングを楽しみました。長岡市から家族で参加した男の子は「ノジコを初めて見ました。楽しかったです」と喜んでいました。



音楽を楽しむゆるやかな時間

6月24日(金)：市民交流センター分じろう

分じろうが一日限定のカフェ。ART MIX Cafe with Sound Dialogue(主催:ReART PROJECT)に生まれ変わりました。昨年の大地の芸術祭参加アーティストによるライブも開催され、訪れた人は、音楽と食事を味わう上質な時間を楽しみました。

知人と来場していた徳永陽子さん(上川町・32歳)は、「こんな空間で音楽を聞きながら、お酒を飲んだり食事したりできるのは贅沢な気分です」と話していました。



松代の名所~ゆったりコース~

6月18日(土)：松代地域

きらく塾の一環で「まつだいいいところマップツアー」が開催されました。竹所の古民家や、松代地域を代表する棚田、各地の石像などをバスで巡り、まつだいいい郷土資料館で開催している石仏のパネル展「松代のいしぶみ」を見学しました。参加者は「見所がいっぱいあって楽しかった」と満足そうに話していました。最後は農舞台で、越後まつだいいい里山食堂の「里山ビュッフェ」で舌鼓を打ちました。



待ちに待った収穫

6月20日(月)：松代区

松代小学校2年生が植えたじゃがいもが、収穫の時期を迎えました。柳武さん(まつだいいい地産地消の会)の指導を受けながら、じゃがいも掘りをした児童たちはたくさん実ったじゃがいもに大喜びでした。植木汰加斗くんは、「大きいじゃがいもがとれてよかった」と話しました。この日の収穫物は学校給食などにも使われる予定です。



歴史を感じる大名行列

6月5日(日)：節黒城跡キャンプ場



今年の姫君は関口実笑さん(6歳・上野)でした。実笑さんのお母さんは「前日まで体調が悪かったので心配でしたが、参加することができました。歴史ある節黒城跡開山まつりで、お姫様に選ばれて光栄です」と話していました。

歯と口の健康週間 ~歯科医師会主催の障がい者歯科健診~

6月10日(金)：なごみの家・エンゼル妻有



十日町市中魚沼郡歯科医師会の鈴木宏・二瓶広之・中林弘・中町忠寿歯科医師の協力のもと、なごみの家・ワークセンターなごみ・ワークセンターかわにし・障がい福祉サービス事業所エンゼル妻有の利用者を対象に132人が歯科健診を受けました。

施設の職員は、「毎年行うことで利用者も抵抗なく受診できるようになっています。障がい者や保護者の歯科衛生に関する意識が変わってきており、効果を実感しています」と話しました。

1日異校種体験研修が始まりました。

6月9日(火)：松之山小学校

昨年度に引き続き、「1日異校種体験研修」が始まりました。この研修は、小学校教員は中学校で、中学校教員は小学校で1日を過ごし、互いの理解を深め、指導に役立てるものです。今年度は市内で38人が研修に参加します。

6月9日(火)には、松之山中学校の教員が松之山小学校で国語の授業をしました。専門的な知識を示しながら、知的好奇心をくすぐり、児童は集中して授業を受けていました。各教員がお互いのよさを指導に生かすことで、9年間を見通した小中一貫教育が実施されています。





庭野 純さん (中条八幡・20歳)

新潟県農業大学校で稲作から経営まで幅広く学び、地元に戻って祖父と同じ農業の道へ。現在1年目。

若者×若者

十日町市の仕事人

キラ×キワークイズ

問合せ 産業政策課 ☎757-3139



齋木 達真さん (北鎧坂2・18歳)

4歳で十日町市を離れ、新潟市へ。十日町市で農業をしたいという強い思いから、農業高校を経て現職に就く。現在1年目。

農業がしたい！その思いを 持ち続けて

庭野さん―実家が兼業農家で、将来は農業をしたいと考え、農業大学校を経て当社に就職しました。大学の校外実習でお世話になり、楽しく実習させていただいたことが、当社を選んだ理由です。 齋木さん―市内で生まれましたが、4歳から高校卒業まで新潟市で暮らしていました。離れてみると自然豊かな十日町市を魅力に感じ、生まれ故郷に戻って農業がしたかったので、当社へ就職しました。

戸 惑いや苦労もあるが喜びや達成感は大い

庭野さん―入社した4月は田植えの準備が始まっており、ハウス建てから、苗植え、肥料撒き、耕うん、代かき、そして田植えと忙しい毎日でした。実家や大学とは違い、扱うトラクターや田植え機の大きさは戸惑いましたが、田植えが無事に終了した日は感慨深いものがありました。 齋木さん―高校では、野菜科にいたため、初めて携わる米作りに苦労もあります。ですが、先輩に多

くのことを教わり、田植え機の運転手として30ヘクタール近くを一人で植えた達成感忘れられませ

頼られる社員になれるよう 勉強・努力の毎日

齋木さん―今は勉強の毎日です。日々の仕事や先輩から少しでも多くの知識を吸収したいです。 庭野さん―大好きな機械を扱うことができ、楽しく仕事をしています。誰からでも信頼してもらえる社員になるため、努力していきます。



協力 企業

■(株)千手

- ・農産物の生産と販売
・十日町市中屋敷
・従業員数24人
・☎768-3683
・お客様からの「米を食べて感動した」を伝えていきます。



ささやまの耳 第3部 笹山遺跡第8〜10次調査 成果報告会

国宝出土地・笹山遺跡の再発掘成果について、展示・講演・公演で公表します
日展示・7月17日(日)〜24日(日)
午前9時〜午後7時
公演・講演・7月24日(日)午後1時30分〜3時35分
定公演・講演100人
内・展示・縄文土器
・講演・佐々木由香さん (株)パレオ・ラボ)「縄文時代のマメ利用―笹山遺跡を中心として―」(仮)
・公演・桂歌助さん「縄文さん」

会・関情報館 (☎757-15)

531)

まほろばの里川治納涼祭

日7月18日(祝)午後4時30分〜7時30分
内そば・地元野菜・フランクフルトなど軽食販売、八箇太鼓・市民吹奏楽団などの演奏
会・関特別養護老人ホームまほろばの里川治 (☎761-7333)

十日町軽スポーツクラブ 納涼盆踊りの集い

郷土の盆踊りを一緒に楽しみたい。
日7月20日(水)午後1時〜3時
会市民体育館※出入り自由
他更衣室あり・浴衣歓迎
間田口 (☎752-2683)

第25回 十日町市芸協展

日7月23日(土)午前10時〜午後8時・24日(日)午前9時〜午後8時・25日(月)・26日(火)午前9時〜午後5時
会市民体育館
内日本画・洋画・版画・現代美術・彫刻・工芸・写真

他特別展「児玉輝彦展」を同

時間 開催

間若月 (☎090-7428-0558)

高校求人説明会

採用を予定している事業所 担当者が仕事内容などを説明します。
日7月27日(水)午後1時〜会クロステン
対来春卒業予定の高校生
間ハローワーク十日町 (☎757-2407)

三好園 納涼大会

昔親しんだ夏祭りを再現し、地域の人たちとの交流を深めます。
日7月30日(土)午後6時〜8時
会三好園駐車場※雨天時はピロティ内
内櫓を囲んでの民謡流し・夜店出店・市川幸治さん歌謡ショー・打ち上げ花火
他駐車場に限りあり
間特別養護老人ホーム三好園 (☎756-2106)

情報館 夏のイベント

会・申・関情報館 (☎750-5100)

夏休みには親子でたくさん本を読みましょ。本を読むきっかけになるようなイベントを開催します。なお、第7回「情報館まるごと体感フェア」は来年1月に開催します。

【リサイクル本市 懐かしい本に会いに行こう】

日7月30日(土)〜8月7日(日)午前9時〜午後7時
¥1冊50円※豪華本など特別価格あり
内情報館で不用になった本を提供します。集まったお金は本の購入費にあてます
持持ち帰り用のバッグ
他支払いは小銭でお願いします

【夏休みジオラマ工作教室】

日7月31日(日)午前10時〜正午、午後2時〜4時
¥500円〜1,000円
内カプトムシ、トカゲなどの精巧なフィギュアを使ったジオラマ(立体模型)作り
対小学生以上※保護者同伴で幼児も可
定20人
持汚れてもいい服装

根津章太郎さん

【近代文学講座「親子であること―啄木・賢治とその父母たち―」】

日8月1日(月)午後7時〜9時
内父母との関係を軸に、石川啄木と宮沢賢治の人生と文学を考えます
対中学生以上
定先着100人
講山下多恵子さん(国際啄木学会理事)

【夏休み子ども映画会】

日8月6日(土)午前10時30分〜11時30分、午後2時〜3時※午前・午後とも同じ映画を上映
対幼児〜小学校低学年
定各先着100人

不老閣 第1回家族介護教室 参加者募集

認知症の人と暮らしている家族向けの介護教室と介護者の交流の場です。

日 7月31日(日)午前10時〜11時30分

会 松之山自然休養村センター
対 認知症の人を介護している家族・関心のある人

講 不老閣デイサービスセンター職員

× 7月30日(土)

申・不老閣デイサービスセンター・柳・志賀(☎596-3366)

星と森の詩美術館 展覧会・イベント

〈展覧会〉

【十日町石彫プロムナードの作家たち2016】

石彫シンポジウム参加の下川昭宣さん・林宏さん・坂井達省さん・井上麦さんの作品を展示。「地鉄の刀工人間国宝 天田昭次展」同時開催。

日 7月31日(日)まで午前9時30分〜午後5時※入館は4時

30分まで
休 毎週(火)
¥ 500円、小・中学生200円

他 7月23日(土)午後2時から彫刻作品4作家によるギャラリートーク開催

〈イベント〉

【木彫アートキャンプ2016】

二科展出品作家の公開制作。中央展出品作品はこうして創られる。長さ2mを超える丸太が、彫刻作品に生まれ変わります。作家が木と格闘する姿を間近で体感してください。

参加作家 藤巻秀正さん・角谷豊明さん・古川憲さん・小林実さん

日 7月17日(日)〜31日(日)午前9時30分〜午後4時30分

他 31日午後6時30分から入選・入賞祈願祭(閉会式)を開催※午後6時からバンド演奏あり

会・星と森の詩美術館(☎752-7202)

女性向け創業セミナー 「語り場」の開催

日 8月6日(土)・20日(土)午後1時30分〜5時

時30分〜5時
会 分じろう

対 市内で商売や事業を始めた女性、興味・関心のある女性

定 10人
× 7月27日(水)

申・産業政策課商工振興係(☎757-3139)

夏休み中学生福祉体験講座

日 8月9日(火)・10日(水)午前9時30分〜午後4時

会 十日町市社会福祉協議会本所・しづみの家ほか

定 先着20人
他 2日間とも昼食あり。希望者には送迎あり

× 8月1日(月)
問 十日町市社会福祉協議会(☎750-5010)

愛と祈りの歌

日 8月17日(水)午後6時30分※開場6時

会 市民会館

¥ 2700円・ペア券5千円(当日3千円) ※全自由席

出演者 樋口由佳里(ソプラノ)・矢野薫(チェンバロ)・バロックハープ)・阿部早

十日町市ビジネスコンテスト『トオコン2016』

市内で新規創業や事業の新分野進出を行うビジネスプランを募集します。事業化には市の補助事業が活用できます。ぜひ応募してください。

- 募集部門=創業部門・第二創業部門・学生部門
- 募集期間=7月7日(木)~10月3日(月)※学生部門は10月11日(火)締切
- 審査方法=書類審査後、通過者のみ本選会(12月17日(土)千手中央コミュニティセンターで開催)で公開プレゼンテーション
- 表彰=最優秀賞:副賞10万円・事業化補助金最大300万円(補助率4分の3)、部門賞:副賞5万円・事業化補助金最大100万円(補助率4分の3)※未入賞でも事業化のときは補助金交付予定
- 他 詳細は公式ホームページ(<http://www.toocon.jp/>)に掲載。11月26日(土)~27日(日)におふくろ館で起業家育成合宿(本選会出場者は参加必須)を開催
- 問 産業政策課商工振興係(☎757-3139)

募集

- 市民プール監視員募集
募集人数 15人程度
- 年齢 18歳以上※高校生不可
- 雇用期間 7月21日(木)~8月21日(日)午前8時~午後6時

時 時給 840円

対 健康で泳げる人

他 事前に救急法を1時間30分程度受講

問 スポーツ振興課(☎756-5013)

ワークショップ開催者募集

市民活動センター十じろうのイベントで、子ども(未就学児〜中学生)やその保護者向けのワークショップを開催する人を募集します。

日 8月7日(日)午前10時〜午後3時

対 個人・団体

¥ 出展料無料※材料費などを徴収するときは要相談

× 7月15日(金)

会・岡市民活動センター十じろう(☎750-7771)

上越テクノスクール
在職者訓練(スキルアップ
セミナー) 受講生募集

【建設機械整備の油圧装置の基礎(学科)コース】

日 8月17日(水)〜19日(金)午後6時〜8時30分

¥ 2400円

定 10人

他 油圧基本回路の習得、2級技能検定学科・実技ペーパー試験対策

× 8月3日(水)※申込み多数のときは抽選

会・申・岡上越テクノスクー
ル(☎545-2190)

第44回
皇居勤労奉仕団参加者募集

日 平成29年3月上旬から4月上旬の予定(4泊5日)

対 15歳以上76歳未満※15人以下のときは中止

¥ 7万5千円(申込金1万円)

× 8月31日(水)

申・岡十日町市皇居勤労奉仕団「妻有会」・村山(☎765-2126)

新潟空港ファンクラブ
会員募集

会員限定のお得なモニターツアーの案内や空港内での買い物の特典があります。ホームページ(http://www.niigata-airport.gr.jp/fan_club/)の新潟空港ファンクラブ会員登録画面で必要事項を記入するだけで、簡単

に登録できます。

問 新潟空港ファンクラブ事務局(新潟商工会議所内)☎025-255-1112

福祉・健康

セミナー
病が起きる原因と治し方

日 7月24日(日)午後1時〜4時

会 サンクロス十日町

内 骨とカルシウムの相談
講 野原美津子さん

問 関口(☎757-8036)

夏の蚊対策

蚊が媒介する感染症について・ジカウイルス感染症(ジカ熱)やデング熱の原因となるウイルスは、それらに感染した人の血を吸った蚊(日本ではヒトスジシマカ)の体内で増え、その蚊がまた他の人の血を吸うことで感染します。感染しても全ての人に症状が出るわけはありませんが、発熱や関節の痛み、発疹が出るといった症状が1週間程続きます。

平成29年度採用 十日町地域広域事務組合 職員(消防士) 募集

- 募集職種・人数=消防士(上級または初級)3人程度
- 受験資格=①平成3年4月2日以降生まれの人
②身体強健で大型自動車運転免許取得可能な人
③採用後、十日町市・津南町に居住可能な人
・上級:大学を卒業した人※卒業見込みの人含む
・初級:高等学校を卒業した人※卒業見込みの人、短期大学など上位学校を卒業した人または在学中の人含む
- 試験方法
・第1次試験:9月18日(日)、試験科目:教養試験・消防適性検査・作文・体力試験
・第2次試験:10月中、試験科目:面接試験
- 申込期間=7月11日(月)~8月19日(金)※当日消印有効
- 必要書類=①職員採用試験申込書(問い合わせ先・各分署に配置、ホームページ(<http://www.tokamachi-kouiki.jp/>)からも入手可)※申込書の請求は土・日曜日、時間外でも可。郵送での請求は上級・初級の区分を明記し、82円切手(定形外は120円)を貼付した返信用封筒を同封して問い合わせ先へ
②最終卒業校(1年制専門学校は高等学校)の成績証明書※卒業見込みの人は最近までのもの
③卒業見込みの人は卒業見込証明書
④82円切手2枚(通知用)
- 申・問 必要書類を郵送(書留のみ可。封筒の表に「受験申込」と朱書きすること)または持参で、〒948-0007四日町新田1041番地十日町地域消防本部総務課庶務係(☎757-1556)

- ☒ 7月15日(金) 会・申・圃 飛渡公民館(☎・F 759-2032)
- 【夜間講習コース】
日 8月3日(水)・17日(水)午後7時〜9時※全4時間
- ¥ 1500円※教材・保険料
内 心肺蘇生法、AEDでの除細動・気道異物除去など
- 【日中講習コース】
日 8月7日(日)午前9時〜午後5時
- ¥ 3200円※教材・保険料
内 心肺蘇生法、AEDでの除細動、急病の手当、けがの手当、搬送・救護
- 〈共通〉
☒ 7月29日(金) 会 本町分庁舎
- 対 満15歳以上で全日程を受講できる人
- 定 先着30人※申込みが3人未満のときは中止
- 申・圃 十日町市地区事務局(社会福祉協議会内) ☎ 750-5010

子育て

子ども博物館
縄文体験 勾玉づくり

日 8月6日(土)午後1時30分〜3時30分
対 小学4〜6年生※保護者の

ジ力熱は妊婦が感染すると小頭症などの先天性障害を持った子が産まれる可能性があります。また、デング熱は出血を伴うデング出血熱となり、重症化する可能性があります。

予防のために蚊をできるだけ発生させない、蚊に刺されないことが重要です。住まいの周辺に水たまりをなくすこと、やぶなどの蚊がいたる場所に行くときは、肌を露出せず、虫よけスプレーを使用するなど、蚊に刺されないようにすることが大切です。また、流行地に渡航するときも、現地で蚊に刺されないように注意しましょう。

問 十日町保健所(☎ 757-2401)

スポーツ

市内のプールを開設します

施設名	開設期間	問合せ※
市民プール	7月23日(土)〜8月21日(日)	☎752-0737 (スポーツ振興課) ☎756-5013
松代小学校	7月23日(土)〜8月21日(日)	☎597-2012 (松代公民館) ☎597-2301
松之山プール	7月24日(日)〜8月22日(月)	☎596-2194 (松之山公民館) ☎596-2265

※開設期間外は()内に問い合わせください

● 開場時間 午前9時〜午後5時※市民プールは8月12日(金)まで午後6時まで開場

● 休 休なし

● 料金 300円、小・中学生200円、幼児100円

参加可
¥ 500円(材料費)

定 先着10人
持 汚れてもよい服装

☒ 7月23日(土) 会・申・圃 申込書(市内小学校に配布)に参加費を添えて博物館(☎ 757-5531)

笹山縄文カレッジ
夏休み親子自由研究サポート

親子で縄文土器を作ってみませんか。

日 8月7日(日)午前9時〜正午、9日(火)午前9時〜午後3時※両日参加必須

会 笹山遺跡・笹山縄文館
対 小学3〜6年生と保護者

¥ 200円(材料費)

定 先着20人
内 1日目:土器の粘土・形作り、文様つけなど、2日目:土器焼き、土器なべ試食会など

持 筆記用具・ノート・汚れてもよい服装・飲み物※2日目は配布テキスト・帽子・軍手も持参

講 阿部敬さん(市博物館学芸員)

全面通行止めとなる市道が2箇所あります。ご理解ご協力をお願いします。

① 市道中条旭町上町線(中条旭町地内)

● 終日全面通行止め 7月11日(月)〜10月7日(金)

また、国道117号の中条公民館付近は歩道整備工事を市道改良に併せ行うため午前8時30分〜午後5時の間、片側交互通行となります。

② 市道北新田明石町1号線(北新田第1地内)

● 終日全面通行止め 8月29日(月)〜9月23日(金)

※ 7月4日(月)〜8月3日(水)、9月26日(月)〜9月30日(金)は片側交互通行となります。

各工事の規制期間は天候などにより変更することがあります。予告・規制看板を確認してください。また、期間中は工事箇所周辺が渋滞することが予想されますので迂回にご協力ください。

問 建設課土木係(☎ 756-5012)

他 熱中症や食中毒に注意してください

☒ 7月31日(日) 申・圃 氏名(児童・保護者)・学年・住所・電話番号を郵送・メール(museum.10@city.tokamachi.jp)・FAXまたは電話で〒948-0072 西本町1博物館(☎ 757-5531、F 757-6998)

第3回
ベビーマッサージ教室

ベビーマッサージを通じて赤ちゃんとお母さん、地域の皆さんと交流する教室です。

日 7月19日(火)午前10時〜午後1時

対 生後1か月〜1歳未満の赤ちゃんとお母さん

¥ 700円(オイル代)・1350円(オイル・ランチ代)

定 先着8組
持 バスタオル・いつものおでかけ道具・離乳食

講 大嶋由紀子さん(ベビーマッサージインストラクター)

他 当日赤ちゃんを抱っこできるボランティアを募集中

中心市街地の空き店舗などの活用を支援します

中心市街地内のにぎわいをつくりだすため、空き店舗や空き家を活用して事業を行う事業者に対して、建物の工事費・設備購入費などの経費の一部を助成します。

【空き店舗など活用促進事業助成金】

- 対象者 = 空き店舗や空き家を賃貸借して事業を行なう個人・団体・中小企業者
- 助成金額 = 上限100万円(助成対象経費の2分の1以内)
- 助成対象経費 =
 - ① 事業用の施設及び建物の工事費
 - ② 原材料費
 - ③ 事業用の設備購入費(設置経費含む)

【新規設備投資サポート事業助成金】

- 対象者 = 建物や設備を取得して新たに事業を行なう個人・団体・中小企業者

● 助成金額 = 上限500万円(助成対象経費の3分の1以内)

● 助成対象経費 =

- ① 事業用の建物・付帯建築物の新設工事費
- ② 事業用の建物・付帯建築物の購入費・改修工事費
- ③ 事業用の設備購入費(設置経費含む)

〈共通〉

- 事業期間 = 平成30年3月31日まで
- 対 中心市街地活性化基本計画で定める区域内で、都市計画の用途地域が商業地域・近隣商業地域
- 申 各年度の12月27日まで
- 圃 都市計画課中心市街地活性化推進係(☎ 757-3691)

第49回 十日町市美術展作品募集

部 門	作品規格()内は大きさ
第1部 日本画	額ぶち付きのこと(100号まで)
第2部 洋画	油絵・水彩・パステルなど。額ぶち付きのこと(10号(53cm×45.5cm)〜100号)
第3部 版画	額装(モノタイプ版・ドライマウント加工は不可)(長辺116cm以内)
第4部 現代美術	技法、材質、立体、平面、表現など問わない
第5部 彫刻	(常識の大きさを超えないこと)
第6部 工芸	染・織・焼物・つる・漆・革・竹・わら・紙工芸など(縦・横・高さとも180cm以内)
第7部 書道	額装、枠張りまたは軸物表装(仕上げ寸法が縦額は、縦182cm以内、横76cm以内、横額は縦76cm以内、横152cm以内) ※釈文票は楷書ではっきりと記入すること。ペン書き・ワープロなど可
第8部 写真	木製パネル張り(ヒートン取付)。額ぶち不可。(単写写真は半切以上全紙まで(短辺35cm以上、長辺65cm以内)。組写真は長辺103cm以内) ※サイズはパネルのサイズ

日 10月15日(土)〜18日(火) 会 市民体育館

- 出品作品 = 同一部門1人2点以内(他の公募展未出品作品に限る)※額装するときはガラス不可(油絵はアクリル板も不可)
- 出品料(1点当たり) = 1,000円、高校生以下500円
- 作品指導会 = 10月12日(水)午後5時30分〜7時
- 授賞(賞金) = 市展賞(3万円)、奨励賞(1万5,000円)、佳作賞(5,000円)ほか
- 審査員 = 渡辺富栄さん(日本画・洋画・版画)、前山忠さん(現代美術・彫刻・工芸)、小林畦水さん(書道)、中谷吉隆さん(写真)
- 募集要項 = 市役所本庁、各支所、各公民館、情報館に配置、市ホームページにも掲載
- 申 10月11日(火)正午〜午後8時に会場へ作品を持参(搬出:10月18日(火)午後4時30分〜6時30分)
- 圃 生涯学習課(☎ 757-8918)



たばこ農家の知恵と技

— つなぐ知恵と技 —

14 葉たばこ農家 樋口 久男さん

(中在家・65歳)

高校卒業と同時に家業を継ぎ、葉たばこ農家となった久男さん。「あのころは農地の基盤整備だとか、農家の規模拡大が盛んに進められていたんだ」。養蚕ようさんに代わり、葉たばこ栽培が増えたのもそのころでした。「中在家は特に葉たばこ農家が多くてね。ムラの行事も農作業に合わせて回っていた。ムラみんなが同じ価値観だった」。かつて地域に多くいた葉たばこ農家も、今では数少ない存在となりました。「市内でも3軒くらいになったかな」。

稲作に比べ手作業が多く、機械化が難しい葉たばこ栽培。農薬の使用や栽培方法なども厳しく管理されています。「新規参入は難しく、専売制の契約栽培だからなかなか後継者も出てこないんだ」。現在は面積を減らしながらも、葉たばこを中心に農業を続けている久男さん。長年の農業で培った技術を頼る人は多く、野菜の苗おこしも引き受けています。「自分の健康との兼ね合いも考えながら、仕事をやるうちはやっていきたいね」。

「農業で培った技術を 生かし続けたい」



①久男さんの葉タバコ畑「今は50アール（5反）くらい。やれる範囲でやってるよ」。②畝の間を進む作業車。移動しながら作業ができる。③「意外だと思われるけど、ピンク色のきれいな花が咲くんだ」。葉を成長させるために咲いた花は摘み取る。④余計な脇芽を抑える処理。「昔は畑一面に葉を噴霧していたけど、今はそんなことできないね。出荷したもの全部が品質検査されるんだ」⑤下の方の大きな葉から収穫していく。⑥収穫した葉はハウスの中で乾燥させる。「このときの管理が難しい。ただ干すだけじゃないんだ」。⑦人の背丈より高くなるタバコ。「葉っぱは少しベタベタしているんだよ」。

たばこ農家は減っていますが、そのノウハウは苗おこしなど、他の場面でも多く生かされています。ぜひ残してほしい技術ですね。

地域おこし協力隊 井比 晃さん



取材した人

里山で育まれた知恵や技をぜひ紹介してください。自薦他薦は問いません。申し込み・問い合わせは企画政策課広報係 ☎757-3112 まで

このとき 熱中&夢中

市民活動ネットワークひとサボが、旬な人・団体を紹介します。

100



毎年8月の最終土曜日に松之山体育館で湯山大神楽祭「大々神楽」を開催しています。獅子舞や天狗舞、伊勢音頭や八木節・寸劇など多彩な演目で、大きな喝采を受けています。(今年は8月27日午後6時～開催予定)



発足当初は町内の旅館で週に1度ほど舞を披露し、来訪者を沸かせていました。各所にたびたび招かれ、今年2月には、市内にて韓国からの観光客を神楽でもてなしました。



12月31日の年取りでは、除夜の鐘を合図に、湯山の松茸神社に集まる集落の皆さんに獅子頭をかみつき、厄よけをしています。この日を境に会長が交代し、新たな年を皆で祝います。

笑顔を奏でる力強く艶やかな里の舞

湯山神楽保存会

江戸時代（万治年間）に始まったとされる湯山神楽。戦後しばらく途絶えていた舞を復活すべく、昭和46年、集落の若手8人が中心となり保存会を立ち上げました。翌年3月、お寺のどんごまきで初披露して以来、さまざまな場所で観客を魅了してきました。43年間にわたって、複雑な舞や笛・太鼓を次世代に伝え、集落の要として生き続けています。

◆問合せ：会長・小口公夫さん（☎025-596-2291）

かつて湯山は、茅葺きや木挽きなどを生業とする職人集落でした。仕事柄、顔を合わせる機会が少ないことを憂慮し、柱となる活動として神楽保存会を設立。発足時から参加する会長の小口公夫さん（71歳・湯山）は、「激しい動きなので、一日に1度しか踊れず、複雑な振りを覚えるのは大変。獅子頭以外の天狗面や装束・小道具はみな手作りしました」と当時を振り返ります。老人会や婦人会・子ども会と連携しながら、集落全体の活動に発展していききました。現在、会員は30代から70代まで22人。舞もおはやしも、先輩の身振りや手つき・音を見聞きしながら、身体で覚えていきます。毎年役回りを交代していたものの、忙しい役職者が増えたため、近年は獅子や天狗・おはやしに若手を据え、役を固定するようになりました。

活動を紹介したい団体を募集しています
ひとサボ ☎761-7444



ジュニア芸術祭

橘小学校
133



野澤 晴^{はる}さん (1年)

もえあがるいろいろな火



しょうぼうしゃが火をけているところですよ。おり紙をいろいろな色のように切るのが楽しかったです。みどり色の紙のもようをきれいに切れたところが気に入っています。



滋野 里桜^{りお}さん (2年)

ごうかなおうち



はんぶんにおったおり紙を切って、ごうかなおうちを作りました。こんなおうちに住みたいです。



紙を絵の具で真っ黒にぬった上に、この絵の具で花火をかきました。線を細かくかいて、ぶつぶつの花火じゃない形にしました。



にぎやかな夜

山家 慶太^{けいた}さん (3年)



野澤 ひまり^{ひまり}さん (4年)

花火のまつり



たくさんの色を使って楽しい花火にしました。空中をヒュンヒュンととんでいます。いろいろな線をかきながら、私も楽しい気分になりました。



丸山 由真^{ゆま}さん (5年)

のびてゆく草花



この絵は割りばしのペンで草花がのびていくようなイメージでかきました。筆で点をつけ、花がさいているように工夫しました。



田中 由乃^{ゆいの}さん (6年)

海のとびウオショー



クランクのストローにつけたトビウオ12匹が飛ぶしくみです。ステージにも注目してください。

